

一わがまち歴史探訪、足もとの文化遺産への誘い  
ミュージアム都留からのお知らせ

ミュージアム甲斐・ネットワーク事業 県立美術館所蔵作品巡回展

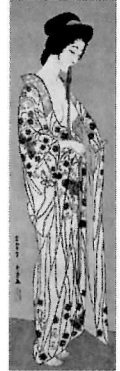
○「大正新版画の作家たち」 会期10月4日(土)～11月3日(祝)

江戸時代に大衆芸術として親しまれ、興隆をきわめた浮世絵版画は、明治維新後、開国によって新聞や写真、石版画などの新技術や芸術が欧米からもたらされると、衰退の一途をたどり、日清・日露の戦争絵を最後に終焉をむかえます。

一方、欧米で日本文化や美意識への憧れが広まり、浮世絵に対する評価が高まったことで、江戸時代の浮世絵を複製して海外へ輸出する事業が行われるようになり、また優れた浮世絵の作品が、海外へ流出してしまう事態も起こりました。

大正時代、浮世絵版画商であった渡辺庄三郎は、こうした状況を憂い、浮世絵版画の復興をめざすとともに、時代に合わせた改革をこころざして、伝統的な木版画の技法に有望な若手の作家たちの感覚を合わせ「大正新版画」を生み出しました。

本企画展では、県立美術館の協力により、渡辺庄三郎が起こした「大正新版画運動」において中心的な役割を果たした橋口五葉、川瀬巴水、名取春仙、伊東深水ら6人の作家に焦点をあて、彼らの作品の中から、特に江戸時代の浮世絵版画と同じ分業制によって制作された「新版画」と呼ばれる作品を紹介します。



『浅草観音堂大提灯』 『長襦袢を着たる女』

会場 ミュージアム都留 第二展示室

※会期中、小中学生の観覧料は無料です。

※「ミュージアム甲斐 in 券」を提示すると観覧料を3割引します。

増田誠美術館

「Roi et Reine ～トランプに遊ぶ王様と王妃～」

会期 10月4日(土)～11月9日(日)

開館時間 午前9時～午後4時30分

会場 増田誠美術館(ふるさと会館2階)

休館日 月曜日、第3火曜日、祝日の翌日

トランプの王様や王妃を擬人化して遊び心に溢れた石版画や油彩画を制作しました。描かれた王様は、狭いカードから飛び出して、ヴィオラを弾いたり、雑誌を読んだりしています。



『ダイス』

休館日 月曜日(月曜日が祝日の場合は開館し、翌日が休館)、第3火曜日、祝日の翌日  
観覧料 一般 300円(210円)  
高・大学生 200円(140円)  
小・中学生 100円(70円)  
※( )内は20名以上の団体料金  
※チケットは増田誠美術館と共通券となっています。  
問合先 ミュージアム都留 ☎(45)8008

勝山城のなぞに迫る!

昨年度、お茶壺蔵と想定された箇所の調査を今年度新たに行いました。調査では、排水の溝と考えられた溝状遺構の調査を進めたところ、深さ3m、幅推定10mの堀が確認されました。底の形状から箱堀であると考えられます。堀はある時期で埋められ、その規模を小さくし、その後、溝のような形状になったと考えられます。堀はその規模と尾根を切る構造から戦国期に造られた堀である可能性が考えられ、小山田氏の時代まで遡る可能性も十分考えられます。北尾根を切る壁堀と合せて本丸を守る防御の要として機能していたことがうかがえます。

情報未来館だより

初心者パソコン

対象 市内在住18歳以上でパソコンに触れたことのない方

内容 マウスとキーボードの使い方、簡単な文書作成、インターネットなど

定員 15名

日程 11月6日、7日、13日、14日、20日、21日の各木・金曜日

時間 午後1時30分～4時30分

参加費 消耗品代 900円

テキスト代 500円

エクスセル入門

対象 市内在住18歳以上でキーボード、マウスが使える方

内容 入力、表の作成、書式設定、簡単な計算

定員 15名

日程 12月4日(木)、5日(金)

時間 午後1時30分～4時30分

参加費 消耗品代 300円

テキスト代 500円

デジタルカメラに興味のある方へ

日程 10月26日(日)、11月30日(日)、12月28日(日)

時間 午後1時30分～4時

※デジタルカメラに関する質問撮影の方法、取り扱い方)も受け付けます。事前に情報未来館へご連絡ください。

開館時間 午前9時30分～午後5時15分

休館日 10月6日(月)、13日(祝)、20日(月)、27日(月)、31日(金)

申込先 情報未来館 ☎(43)1452